

授業科目	社会心理学						実務家教員担当科目	-			
単位	2	履修	選択	開講年次	3		開講時期	後期			
担当教員	杉本 有紗										
授業概要	社会心理学は、社会的存在としての人間の心の性質を研究する学問である。本講義では、人間が社会的な存在であるということがどのように捉えられてきたか、人間の心理過程や行動が社会的要因によってどのように影響を受けているのかについて、社会心理学の理論や研究の紹介をし、解説する。										
授業形態	対面授業				授業方法						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 人間に影響を与える社会的要因およびその影響の結果について説明できる。 2. 社会心理学の各領域における理論を説明できる。検討できる。 3. 社会心理学の各領域における研究の手続きとその結果を説明できる。 4. 社会心理学で研究されてきた概念や理論を、身近な経験や事象に置き換えて説明できる。										
理想的レベル	標準的レベル 1. ～4. を全て達成した上で、現実場面での様々な問題を考える際にこれらの知識を応用し、「社会心理学的視点」から検討できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合（数値）				備考				
試験			70								
小テスト											
レポート			30				小レポート				
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE31413J
学習課題（予習・復習）										1 回の目安時間（時間）	
テキストを事前に熟読する。授業後はテキスト、配布資料を振り返り、重要な概念はノートにまとめる。身の回りの出来事と社会心理学の知見で結びつくものはないか、観察を行う。										4	
授業計画											
第 1 回	オリエンテーション・自己意識と自己評価 自己についての理論と研究を解説する。										
第 2 回	社会的認知 社会的認知についての理論と研究を解説する。										
第 3 回	人間関係の基盤 相互協力関係の形成についての理論と研究を解説する。										
第 4 回	親密な人間関係 対人関係の形成についての理論と研究を解説する。										

第5回	対人コミュニケーション 対人コミュニケーション、対人葛藤についての理論と研究を解説する。
第6回	説得と態度変容 態度と説得についての理論と研究を解説する。
第7回	ソーシャルサポート 援助の人間関係についての理論と研究を解説する。
第8回	集団のダイナミックス 集団内の影響過程についての理論と研究について解説する。
第9回	集団間関係 集団間葛藤、内集団と外集団についての理論と研究について解説する。
第10回	インターネットの人間関係 インターネットの人間関係への影響について解説する。
第11回	集合行動 流行とうわさについての理論と研究を解説する。
第12回	マスメディアの影響 マスメディアからの影響についての理論と研究を解説する。
第13回	文化の影響 社会と文化についての理論と研究を解説する。
第14回	アクションリサーチとその実際 社会心理学の研究方法について解説する。
第15回	まとめ これまでの内容を振り返る。
テキスト	『集団と社会の心理学』 笹山郁生編 サイエンス社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『図説社会心理学入門』 齋藤勇編著 誠信書房 『新編 社会心理学 改訂版』 堀洋道監修 福村出版 『教科書 社会心理学』 小林裕・飛田操編 北大路書房 『現代社会心理学—心理・行動・社会』 青池愼一・榊博文編 慶應義塾大学出版会 『社会心理学 キーワード』 山岸俊男編 有斐閣 『グラフィック 社会心理学 第2版』 池上知子・遠藤由美共著 サイエンス社
課題に対するフィードバックの方法	小レポートを返却する。
学生へのメッセージ・コメント	社会心理学は、個人、対人関係、集団・組織、社会と個人レベルから社会レベルまで幅の広い領域を研究の対象としています。上記のテーマに関する雑誌や新聞記事、インターネット、テレビのニュースや教育番組などによる情報収集などを行い、授業内容と日常経験や社会事象を結びつけながら、学びを深めてください。